

歳入

（町の収入）

質疑

今後の財政運営をどう捉えているか

議員

人口減少等による歳入減や庁舎建設等による歳出増を踏まえ、厳しい財政運営が予想されるが。

当局

財政の収支見通しは厳しい状況になると考えている。地方創生と連動した施策を展開し、国や県の動向等を捉えながら、より有利な国の財源等を活用しながら財政の収支見通しを立てる必要がある。

ふるさと応援寄付金の状況は

議員

ふるさと応援寄付金の予算が増えた要因と、当町における謝礼の内容は。

当局

寄付金は年々増加している実績にある。また、カード決済が導入されたことが考えられる。謝礼は寄付金1万円以上の方へ4割程度の特産品などをお返ししている。



次代を担う若者たち

歳出

（町の支出）

総務費

青少年国際交流事業の内容は

議員

青少年国際交流事業として、次代を担う中高生の国際感覚を養うため短期海外留学事業を実施しているが、詳しい内容は。

当局

白鷹中学校、荒砥高校の生徒を対象に、英語圏に5日間程の派遣を考えている。事前研修、現地研修、事後研修を含めて人材育成に取り組んでいきたい。選考は学校とともに選考方法を検討していく。

まちづくり複合施設の町民会議の設置とは

議員

町民の声を反映させるための町民会議の設置を見据えると報道されているが、内容と設置時期などは。

当局

図書館、防災センター、庁舎と大きな機能が一体的に整備されるということもあり、それぞれに関係する部分で、町民からご意見を聞く場を設けたい。設計業者選定のプロポーザルを

実施して選定後に体制を組んでいきたい。

